

## 不来方高校音楽部コンサート 素晴らしい歌声響き渡る

8月3日、町中央公民館で不来方高校音楽部によるコンサートが開催されました。今年で7回目となる同校のコンサート。会場には350人が来場し、素晴らしい歌声を楽しみました。ゲストにコーラス泉の会やピアニストの長岡直子さんを迎え、全13曲を披露。「合唱版紅白歌合戦」と銘打って行われた部員同士の白熱した『戦い』では、男子、女子それぞれが自慢の歌声を披露し、会場を大いに盛り上げました。閉演後、来場者が会場を去るまで歌声を届け続けた姿に、惜しめない拍手が送られました。



## さんりく音楽祭2019 ホールに響く美しい音色

8月1日、町中央公民館で「さんりく音楽祭2019こころのビタミンプロジェクト」が開催されました。「三陸防災復興プロジェクト2019」の一環で行われたこのイベントには、約400人が来場。佐渡裕ゆたかさんの指揮でスーパーキッズオーケストラの演奏が行われ、演奏が終わると、大きな拍手がホールに響いていました。また、山田中学校や山田高校の生徒、コーラス泉の会の方々がステージに上がり、佐渡裕さんの指揮のもと演奏や合唱が行われ、会場はきれいな音色で包みこまれました。

## 親子で手間暇かけた椎茸 各品評会で最高賞を受賞

6月下旬に全国乾椎茸品評会が行われ、芳賀計市けいいちさん(75)が最高賞の農林水産大臣賞に輝き、9年ぶり6度目の受賞となりました。また、6月13日、第52回全農乾椎茸品評会が行われ、計市さんの息子の芳賀隆たかしさん(40)も最高賞の農林水産大臣賞に輝き、4年連続の受賞。9年ぶりに最高賞を受賞した計市さんは「最高賞を取ることができ、驚いている。これからも良い物を作るために頑張っていきたい」。隆さんは「これからも連続で受賞できるように頑張っていきたい」と、親子で意気込んでいます。



## 鎮守の森のプロジェクト 田の浜防災緑地へ植樹完了

8月4日、田の浜防災緑地で「植樹祭in山田町2019」が行われました。これは、昨年に引き続き行われた「鎮守の森」を作るプロジェクト。海と居住地の間に森をつくることで、津波時の被害を少なくすることを目的としています。当日は町内外から約400人が参加し、植樹を行ったほか、地元食材を使った料理などを楽しみました。今回植えたのはタブノキやコナラなどの4千本の苗木。昨年植えた分と合わせて7千本の植樹が完了し、事業は無事終了。参加者は20年後の鎮守の森完成を願いました。



# 町のわだい

今月の題字 山崎 <sup>いちか</sup>唯史さん (大浦小3年)



## 山田の夏の風物詩 パドルフェスに約900人参加

7月28日、浦の浜海水浴場で「山田パドルフェス2019」が行われました。マリンスポーツの無料試乗会が目玉のこのイベントは、今年で4回目の開催。会場には昨年の2倍近い約900人が訪れ、マリンスポーツのほか、景品が当たる宝探しゲーム、滝沢市名産のスイカなどがもらえるスイカすくいなどを楽しみました。この日は、巨大な鉄板で作られた焼きそばも振舞われ、行列ができるほど繁盛していました。また、同日に行われたB&G海洋教室では、バナナボートの体験会も実施。年に一度のマリンスポーツの祭典は、大盛況のうちに幕を下ろしました。

## 第13回やまだの花火大会 夏の夜空に咲き誇る

8月14日、山田漁港で山田商工会青年部（<sup>りゅうた</sup>松本 龍 太郎 長）主催の「第13回やまだの花火大会」が、開催されました。会場の特設ステージでは、午後1時からちゃぶ台返し大会やストリートダンス、山田吹奏楽団による演奏など多くのイベントが行われ、花火大会を盛り上げました。また、今年は特設プールが設置され、訪れた子どもたちは、プールに入り楽しんでいました。そして午後7時から、花火の打ち上げがスタート。音楽に合わせて約5千発の花火が打ち上がると、会場は大きな歓声上がり、夏の夜空に咲く花火を楽しんでいました。

